



# 第3回 神戸市 都市デザイン賞

平成28年 受賞作品

© 泊 浩久

神戸市 住宅都市局 計画部 まちのデザイン課  
建築指導部 建築安全課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 (神戸市役所2号館)  
TEL 078-322-5484

■神戸市ホームページからもご覧いただけます。

平成28年12月発行 神戸市住宅都市局 計画部まちのデザイン課・建築指導部建築安全課  
神戸市広報印刷物登録 平成28年度第435号 (広報印刷物規格B-1類)



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

City of Design  
KOBETW

Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008



この印刷物は、印刷時の紙へ  
リサイクルで変換します。



主眼/10子配合率10%以上を達成



# 第3回 神戸市都市デザイン賞

神戸市では、「デザイン都市・神戸」を推進する一環として、

神戸らしい魅力ある景観やまちなみをまもり、つくり、そだてる取り組みを進めています。

その取り組みの1つとして「神戸市 都市デザイン賞」を開催し、

神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物等の魅力を、市内外に広く発信します。

第3回 神戸市 都市デザイン賞には、神戸らしい景観やまちなみを形成している建築物を表彰する「**まちのデザイン部門**」、

環境に配慮された優れた取り組みを行っている建築物などを表彰する「**地球にやさしいCASBEE建築部門**」、

神戸の魅力を伝える写真を表彰する「**まちの魅力発信部門**」の3部門があります。



## まちのデザイン部門 地球にやさしいCASBEE建築部門

- 募集期間 平成28年1月18日～3月18日
- 選考委員会 平成28年7月6日、7月11日、8月8日

## まちの魅力発信部門

- 募集期間 平成28年1月18日～5月18日
- 選考委員会 平成28年7月25日、8月8日

## ■ 表彰式 平成28年12月10日

- 選考委員 三輪 康一 神戸大学大学院 工学研究科教授  
岩前 篤 近畿大学 建築学部長  
末包 伸吾 神戸大学大学院 工学研究科教授  
田中 まこ 神戸フィルムオフィス顧問  
長濱 伸貴 神戸芸術工科大学大学院 芸術工学研究科准教授  
藤本 英子 京都市立芸術大学 美術学部教授  
桜間 裕章 神戸新聞社 論説委員長  
森崎 輝行 建築家  
梶木 典子 神戸女子大学 家政学部教授  
八木 景子 公益社団法人 兵庫県建築士会  
泊 浩久 写真家

■ 六甲学院中学校・高等学校 本館  
(灘区篠原伯母野山)

■ 竹中大工道具館 新館  
(中央区熊内町)

■ 神戸市立神戸祇園小学校  
(兵庫区下三条町)

■ 菊水町8丁目まちなか防災空地  
(兵庫区菊水町)

■ カン研究所  
神戸ポートアイランド本社研究所  
(中央区港島南町)

■ 大前家住宅 (北区道場町)

■ 川上商店 山椒彩家 (北区有馬町)

■ 自然体感展望台 六甲枝垂れ  
(灘区六甲山町)

■ 岡本版・屋外広告物  
ルール&ガイドライン  
(東灘区岡本)

■ 摩耶シティ NADA EXCEED  
(灘区岩屋北町)

■ 摩耶シティ COMFORT・DELIGHT  
(灘区灘北通)

まちのデザイン部門/  
地球にやさしい  
CASBEE建築部門  
受賞作品

# まちのデザイン部門

## ■ 建築文化賞

神戸市内の市民に親しまれている、または神戸にふさわしい建築物

## ■ 景観・ポイント賞

- ・神戸らしい景観、まちなみ
- ・神戸市内の建築物その他の工作物、土木構造物、広場、オープンスペース、緑地など
- ・神戸市内の屋外広告物や案内サインなど

## ■ ストック再生賞

既存建築物を転活用・改修するなど、全部あるいは一部をうまく活用している建築物

## ■ 市民活動賞

神戸市内で実施している景観まちづくりに関する取り組みなど

## まちのデザイン部門 建築文化賞

### 竹中大工道具館 新館 (中央区熊内町)

#### 【講評】

神戸・六甲山の麓に建つ、創設30周年を機に移転・新設した日本で唯一の木工道具の博物館。背後の六甲山からつながる緑豊かなロケーションを活かすため、建物は地上1階、地下2階として存在感を抑え、敷地にあった茶室は残し、樹木の伐採も最低限に留めている。消えつつある伝統的な木工道具とその技術を民族遺産として収集・保存し、さらに研究・展示を通じて、職人の技術を後世に伝えていくことを目的としていること、建築自体が、構造的にも、意匠の面でも、先進性に富むと同時に、敷瓦・土壁・漆喰壁・名栗板扉など、伝統的な技術を現代の建築技術に応用することで優れた内外の空間を生み出していることから、文化賞にふさわしい建築である。



©古川孝造

建築主	公益財団法人 竹中大工道具館
設計者	株式会社 竹中工務店 大阪本店
施工者	株式会社 竹中工務店 神戸支店



©古川孝造



©古川孝造

## まちのデザイン部門 建築文化賞

### 六甲学院中学校・高等学校 本館

(灘区篠原伯母野山)

#### 【講評】

神戸市灘区の山麓に建つ中高一貫教育の私立男子中学校・高等学校。創立75周年を機に耐震化と機能充実を目的として旧本館を建替えた。建替えにあたり、六甲の山並みを背に建つ神戸ならではの佇まいを踏襲し、長年親しまれた風景が変わらぬよう工夫されている。建物のデザインは六甲の山並みと調和しており、内部空間からの眺望が素晴らしい。廊下の床仕上げに人造石研ぎ出し仕上げを用いるなど、内装材料も旧校舎と変わらぬ手仕事による仕上げを採用し、吹き抜け部分北側の壁には旧校舎の教室床材を使用するなど、旧校舎の印象を巧みに継承している。



©Nacasa&Partners

建築主	学校法人 上智学院 六甲学院中学校・高等学校
設計者	株式会社 日建設計
施工者	株式会社 銭高組



©Nacasa&Partners



## まちのデザイン部門 景観・ポイント賞

### 自然体感展望台 六甲枝垂れ

(灘区六甲山町)

#### 【講評】

「山の上に立つ一本の大きな樹」をコンセプトとした自然体感展望台。六角形を基本としたヒノキの柵(枝・葉)により構成される葉脈状の網目のドームが覆い尽くす独自の形状で、六甲山の山並みのなかでオリジナリティのある景観スポットとなっている。ほとんど電力を使わず、太陽光、風力などの自然エネルギーを活用されており、内部の氷室には冬季に氷が蓄えられ、夏季には空調を利用せずして吹き抜ける風により涼しさを体感できるよう工夫されている。建築後、時間をかけて人々に親しまれ、六甲山のシンボルとして定着したことで、この度の受賞となった。

建築主	六甲山観光株式会社
設計者	三分一博志建築設計事務所
施工者	株式会社 鴻池組 大阪本店



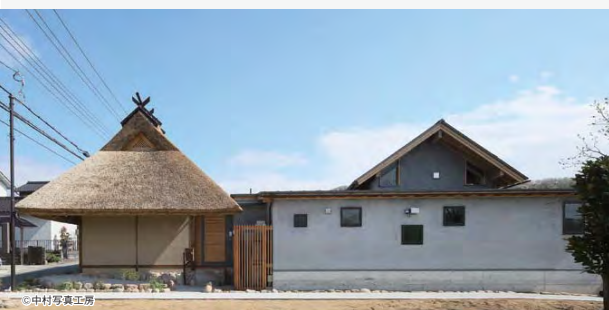
まちのデザイン部門 **景観・ポイント賞**

**川上商店 山椒彩家** (北区有馬町)

建築主	株式会社 川上商店	設計者	森崎建築設計事務所
施工者	株式会社 一級建築士事務所 山本工務店		

【講評】

有馬・湯本坂にある室町後期創業の老舗佃煮屋「川上商店」の新店舗として建てられた山椒専門店。周辺のまちなみのスケールに応じて、勾配屋根を採用し、木製の建具を使用することで有馬の雰囲気を出すと、湯本坂の伝統的なまちなみに調和した外観の意匠に配慮している。一方、火災時の延焼止めとして敢えて鉄筋コンクリート造で建築されており、地域全体の防災施設としての役割も担う。景観形成や防災拠点など、新しい建築物が伝統的なまちなみのなかで、担うべき役割を示唆するものとして評価される。



まちのデザイン部門 **ストック再生賞**

**大前家住宅**

(北区道場町)

建築主	大前 延夫
設計者	株式会社 いるか設計集団
施工者	有限会社 あかい工房

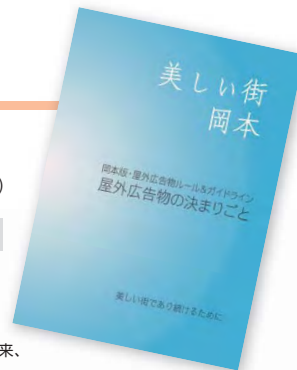
【講評】

神戸市の登録文化財である大前家住宅は、新名神高速道路の建設のために移築されたもので、近隣の茅葺民家が次々と姿を消す中、文化財としての価値を守りつつ、現代の住まいとして今後も永く住み続けられる家として、移築によりよみがえった。伝統工法、自然素材、古材を可能な限り採用し、地域に根ざしてきた茅葺民家を現代に受け継ぐ一方で、若き職人たちにより、内部の細かなところ遊び心や新しい形、色彩の工夫がなされ、未来につながる積極的なデザインが導入されている。また、専用住宅でありながら、お茶会やコース・伝統民家の改修事例としての公開などイベントを開催し、地域のシンボルとして茅葺民家の保存活動を広める拠点となっている。



まちのデザイン部門 **市民活動賞**

**岡本版・屋外広告物ルール&ガイドライン**  
(東灘区岡本)



活動団体 美しい街岡本協議会



【講評】

美しい街岡本協議会は、昭和57年の発足以来、景観まちづくりに取り組んでおり、平成21年度から屋外広告物のルール&ガイドラインの検討に着手し、平成28年3月に施行された。建築物に関するガイドライン策定はこれまででもあるが、広告物に関するガイドライン策定はあまり例がなく、景観まちづくりの成果として意義がある。

このルール&ガイドラインは、屋外広告物の種類や通りごとに、設置位置・設置数・サイズ・文字の大きさを定めるなど詳細な事項にまで及んでおり、協議会による主体的な取り組みと合意形成への持続的な努力が基礎にあるからこそできる内容となっている。地域住民が主体となって景観まちづくりに取り組み、最終的に神戸市の景観計画として定められた点が評価できる。



まちのデザイン部門 **市民活動賞**

**菊水町8丁目  
まちなか防災空地**

(兵庫区菊水町)

活動団体 菊水町8丁目自治会  
兵庫区北西部まちづくり協議会



【講評】

神戸市の「まちなか防災空地整備事業」を活用し、3つの連担する敷地において、老朽空き家を撤去した跡地を広場に、空地対策の一環としてうまく活用しているとともに、1m程度しかなかった通路を拡幅し、緊急車両が通れるようにするなど、日常生活環境を改善するとともに、防災面の向上を図った取り組みである。地域住民の地道な取り組みによって、段階的に防災空地が広がっていった点、そして地域住民の維持管理が常に行き届いている点から、この空間に対する地域住民の想いが感じられる生活景の形成が実現されており、密集市街地におけるまちづくりの成果として評価できる。

# 地球にやさしいCASBEE建築部門

## ■CASBEE建築賞

おおむね3年以内に完成した神戸市内の建築物で、神戸市建築物総合環境評価制度で定める基準による評価が優秀であるとともに、環境配慮等の点で特に優れた取り組みを行っているものと認められるもの。

「CASBEE」とは・・・建築物の環境配慮の取り組みを総合的に評価し、格付けする仕組みです。

## ■すまいの環境性能賞

おおむね3年以内に完成した神戸市内の集合住宅等又は一戸建て住宅で、神戸市建築物総合環境評価制度又は神戸市すまいの環境性能表示の重要項目において特に優れた取り組みを行っているものと認められるもの。

## 地球にやさしいCASBEE建築部門 CASBEE建築賞

### 神戸市立 神戸祇園小学校

(兵庫区下三条町)

建築主	神戸市教育委員会
設計者	株式会社エーアンドディー設計企画・株式会社樹谷設計共同企業体
施工者	柄谷・中田特定建設工事共同企業体



#### 【講評】

兵庫区北部東地域および中央区の4小学校を統合した小学校である。敷地内には自由通路が設けられており、植栽を有効に配置することで、地域と一体となった開放的な空間を創り出している。校舎棟では、教室の南側採光を確保するために、E字形の校舎配置となっており、中庭から教室に安定的な採光を確保すると共に、中庭となる部分には低学年の遊び場としての機能をもたせている。周辺環境及び教育環境への対応など、CASBEE建築賞として高い評価を得た。



地球にやさしいCASBEE建築部門

## CASBEE建築賞

### カン研究所 神戸ポートアイランド 本社研究所 (中央区港島南町)

建築主	鹿島リース株式会社	設計者/施工者	鹿島建設株式会社
-----	-----------	---------	----------

#### 【講評】

神戸医療産業都市を推進するポートアイランドにおいて、革新的新業の創造に取り組む企業の本社である。CASBEEによる評価では、最高ランクのSを獲得している。1階は全面ガラス張りで光が差し込む開放的な空間とし、2階から上階は分節化したボリュームとリブデザインで力強さを表現している。建物の周辺には豊かな緑を配し、近隣に潤いのある景観を形成している。また、緊急事態に備えた事業継続計画(BCP)のために、免震構造・液化化対策プレストレストRC杭・72時間非常用発電設備等を採用している。これらの優れたデザイン・景観・構造の共存が、CASBEE建築賞の受賞につながった。

## 地球にやさしいCASBEE建築部門 すまいの環境性能賞

### 摩耶シティ COMFORT・DELIGHT・NADA EXCEED

(灘区灘北通)

(灘区灘北通)

(灘区岩屋北町)

#### 【講評】

2016年3月に開業したJR摩耶駅周辺に位置する3棟の分譲マンション。空の筋雲や爽やかな透明感をイメージした白いライン状のフレームで統一され、山並みに呼応する六甲の自然に溶け込んだデザインとなっている。屋上には太陽光パネルが設置され、昼間の共用部電力を削減するとともに、各戸にはエコジョーズを採用し、省エネ・地球温暖化対策に貢献している。また、敷地内の一部には打水ブロックを採用し、温度上昇を抑えるなどの地球環境への負荷を抑制する配慮もおこなっている。これらの摩耶シティ一体の取り組みがすまいの環境性能賞に相応しいものと高く評価された。



COMFORT



DELIGHT



NADA EXCEED

建築主	三井不動産レジデンシャル株式会社 JR西日本不動産開発株式会社
設計者	株式会社アクス設計 大鉄工業株式会社 一級建築士事務所
施工者	大鉄工業株式会社

# まちの魅力発信部門

## テーマ① ビューポイント

「神戸らしい眺望景観50選・10選」のうち、ビューポイントサインが設置された場所から撮影された写真で、市民にその魅力を伝え、ビューポイントに誘うもの。

## テーマ② 魅力再発見

テーマ①以外の場所から撮影された写真で、神戸の景観の魅力を再発見できるもの。



ビューポイント 佳作

### 「掬星台」小田 広志

講評 夜景の印象が強い掬星台で朝の風景(初日の出)はインパクトがある。ビューポイントを表示する為に、そこに集う人々を撮影したところが面白く、初日の出のオレンジからブルーのグラデーションの色合いは、朝の空気が澄んだ様子を感じることができる。



ビューポイント 準大賞 「愛を語る場所」新谷 晃

講評 ピーナズブリッジがハートを連想させるアングルが秀逸で、カップルを風景として取り込んでいるところがポイント。夜景の美しさがよく表現されている。一般的に撮影するスポットとは違う視点で切取られていて、ちょうどポートタワーが見えるポイントから撮影されており、新たなビュースポットとして紹介できる作品。



ビューポイント 佳作

### 「Rainbow time」前中 茂樹

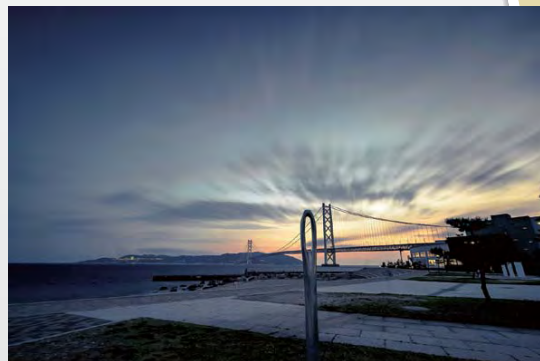
講評 市民にもあまり知られていない雌岡山からの夜景がよく表現されており、新しいビューポイントを発掘し、素敵な構図に仕上げている。明石海峡大橋が虹色にライトアップされる時間に合わせて撮影しているところに、応募者の想いが感じられ、手前の溜池が西らしい。



ビューポイント 佳作

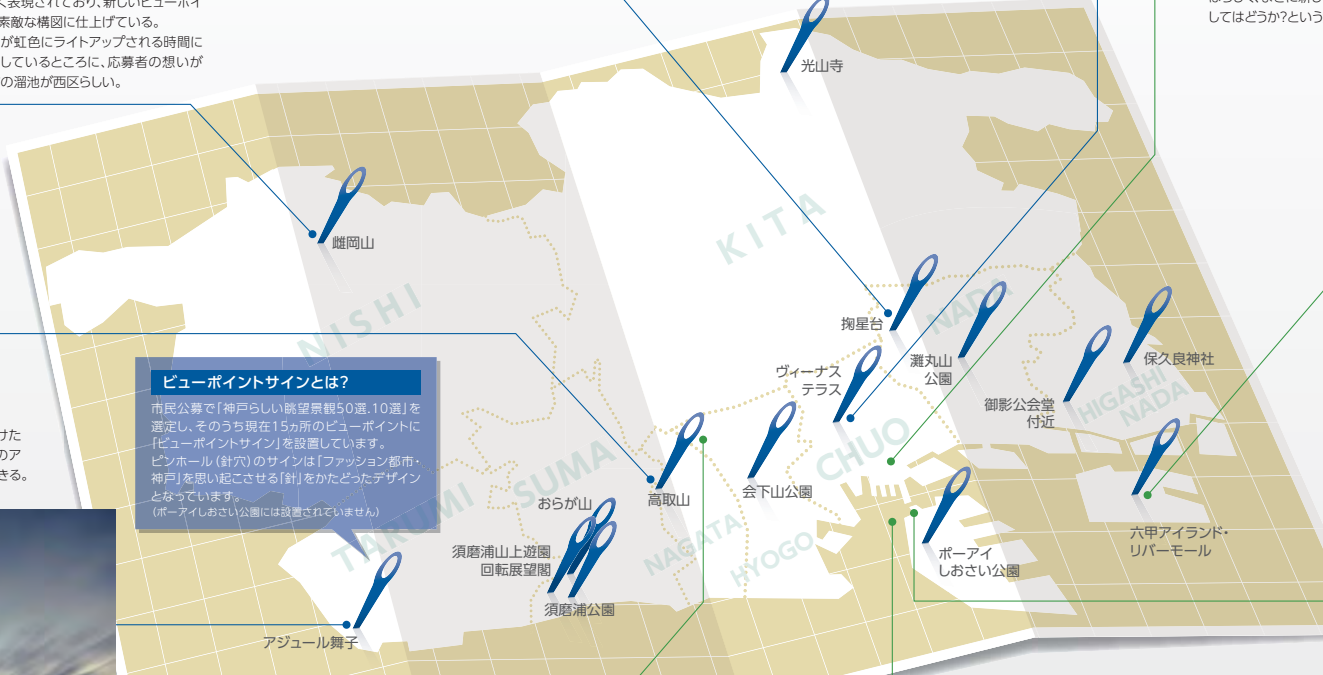
### 「高取山から空・海・神戸」富山 綾子

講評 登山家・加藤文太郎が見ていた風景として感じた、長い間あり続けたビューポイントを改めて表現している。山から撮る景色として高取山からのアングルは、鳥居を取り込むことで、神戸の「和」をあらためて感じることができる。



ビューポイント 大賞 「暮れ行く」神垣 智直

講評 ビューポイントサインの存在を広めることができ、「このビューポイントに行きたい!」と思える、今回のテーマが十二分に表現されている作品。ビューポイントサインを巧みに構図に取り込み、なおかつ雲の流れで臨場感たっぷり表現されている。



### ビューポイントサインとは?

市民公募で「神戸らしい眺望景観50選・10選」を選定し、そのうち現在15カ所のビューポイントに「ビューポイントサイン」を設置しています。ピンホール(針穴)のサインは「ファッション都市・神戸」を思い起こさせる(針)をかたどったデザインとなっています。(ポーアイしおさい公園には設置されていません)

魅力再発見 佳作

### 「長田の街並みと海と電車」

櫻井 勇仁

講評 神戸の代表的な地形が写真にうまく納まっており、神戸にこのような場所があることを再発見できる作品。さりげない風景ながら、神戸市民にとってはザ・神戸の写真に仕上がっており、作者の意図通りに表現されている。



魅力再発見 準大賞

### 「Welcome to Kobe!」

成田 建和

講評 船から見た神戸のアングルが、今から上陸するというワクワク感をうまく表現できており、ビュースポットとして提案した作者の発想がいい。船の船先を入れ込むことで一人称視点が表現されており、神戸の景観を大パノラマで見ることができる作品。



魅力再発見 大賞 「Rainy day」前中 茂樹

講評 群衆が入ることで躍動感のある写真となっており、手前をシルエットにしたところが映画のワンシーンの様。雨の日にこの構図で切り取っていることがすばらしく、まさに新しい景観の再発見となっている。ビューポイントというテーマとしてはどうか?という意見も出たが、何気ない日常の神戸らしさができている作品。



魅力再発見 佳作

### 「幻想的な六甲アイランド・リバーモールと神戸ファッション美術館」

後藤 正

講評 六甲アイランドの夜を散歩して出会う、ライトアップの風景を綺麗に表現していて、水面に映る光が美しい。クリアな空気がよくできている作品。



魅力再発見 佳作

### 「未来へ発進」上杉 裕昭

講評 インパクトのあるアングルで、橋の伸びていく様子がタイトルによくあっていて、躍動感がある。神戸のシンボルになる橋といえば「神戸大橋」と思える。新たな魅力が表現できている。長時間露光によって時間の流れを感じることのできる作品で、全体をハイキーにすることによって未来感がよく表現されていて幻想的。